

私たちは、どこから来て、どこへ向かおうとしているのか ①

新しい世代による国際的基地研究ワークショップ—歴史と歴史学に問い返されて

2023年12月17日（日）11：00～18：00

成城大学研究機構グローバル研究センター主催

早稲田大学アジア太平洋研究センター後援

本企画は、日々、歴史的出来事の重みと歴史学の厚みに問い返されながら、基地研究に取り組む、米・沖・日の若手歴史研究者による国際ワークショップです。

世界各地で、さまざまな戦争が起きているなか、基地研究とはいかなる営為であり、軍事化が加速する米国・沖縄・日本の社会において、どのようなインパクトを与えられるのか。それぞれの経験と視点から、歴史のなかに生きる私たちの存在をリフレクティブ (reflective) に思考します。

当日は、成城学園に残された米軍接収住宅跡を訪れたのち、砂川闘争を主題とした映像作品の上映と感想交流、米沖日の研究者からの提題と参加者間の対話をおこないます。

ゲスト：ダスティン・ライト（カリフォルニア州立大学モンレーベイ校准教授）

：アダム・トンプキンス（レイクランド大学ジャパン・キャンパス准教授）

提題／司会：高原太一（成城大学グローバル研究センターPD 研究員）、井上史（早稲田大学アジア太平洋研究センター助教）

午前の部 フィールド・ワーク—足元の占領をたどる（11:00～12:00 小田急線「喜多見」駅集合、「旧山田家住宅」フィールド・ワーク）

午後の部 ワークショップ「新しい世代の基地研究—歴史と歴史学に問い返されて」（13:20～18:00 成城大学9号館グローバルラウンジ）

※言語（日英バイリンガル、山口溪・福岡愛子による英語通訳）申し込み／問い合わせ：taichi.takahara1969@gmail.com（高原太一）